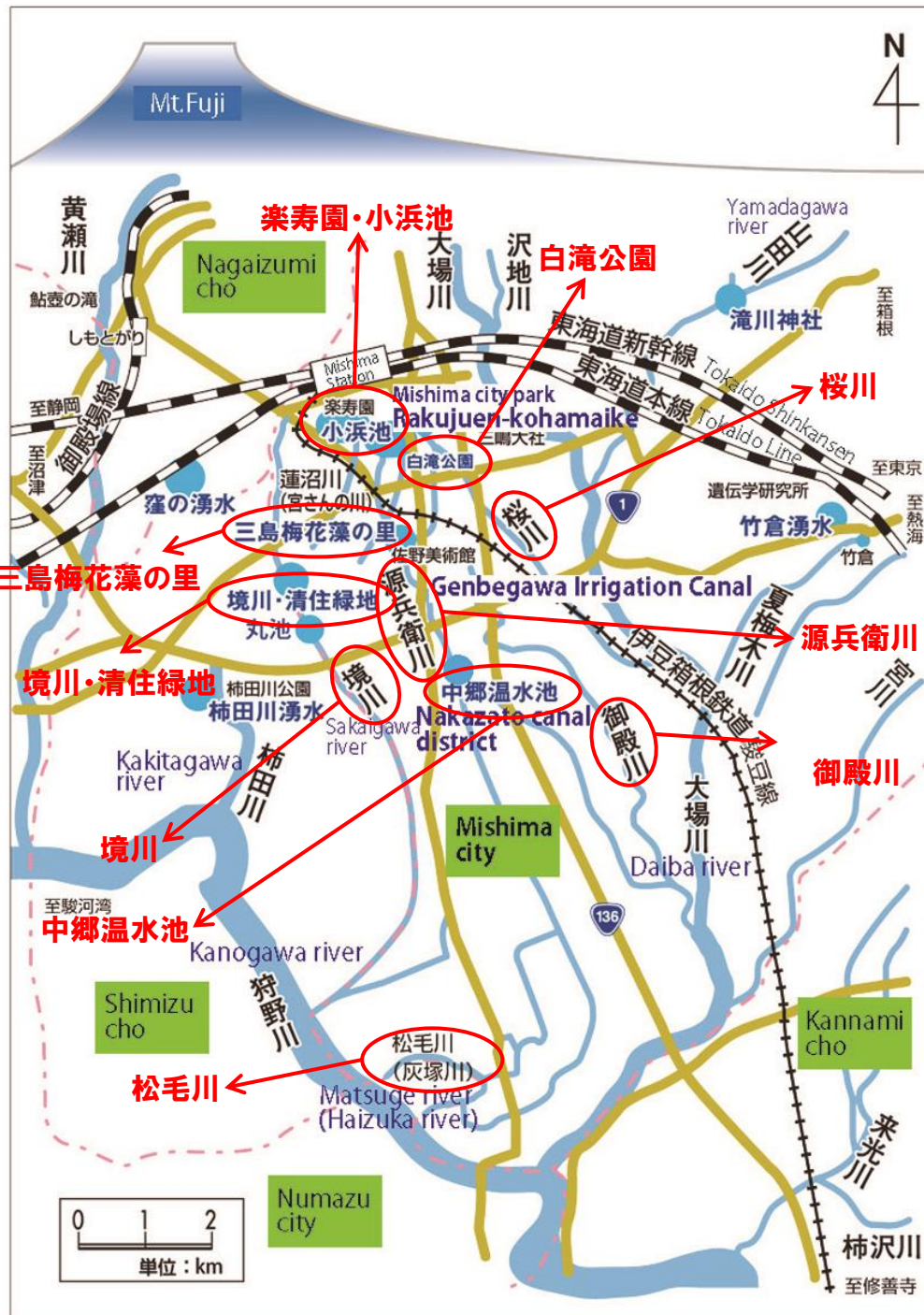


# 地域協働で「水の都・三島」の環境資源を再生 「水と緑のネットワーク」創造事業



特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島





# 開始前の状況

**地下水の減少、湧水池の枯渇**  
(上流地域での地下水の汲み上げ、  
開発行為の拡大、地下水規制制度  
の形骸化)



**満水状態の  
楽寿園小浜池**



**湧水が枯渇した  
楽寿園小浜池**



# 開始前の状況



1955年以前の  
源兵衛川の原風景

## 環境悪化

(ゴミの投棄、雑排水の流入、水質悪化  
悪臭、ヘドロの堆積、水の都への愛郷心  
の劣化、暗渠化の検討、まちづくり意欲  
の低下等)



1968年当時の  
汚れた源兵衛川



# 開始前の状況

## 水源地の湧水池が売却・消滅



## 歴史的価値ある井戸の売却・損出



## 工事による環境被害の多発化



## 歴史的な巨木の維持管理・保育不足による倒木・消滅



# 社会的ニーズへの対応

## 環境資源の危機的状態が活動の起爆剤

- ① 変わり果てた『水の都・三島』の水辺自然環境
- ② バラバラな市民・NPO・行政・企業
- ③ 難しいパートナーシップの構築



イギリスで始まったグラウンドワーク手法を導入、実践

・仲介型NPO「グラウンドワーク三島」の結成

・水辺自然環境の再生、原風景・原体験の復活

・パートナーシップの有益性と発展性を実証

・「NPOの特性」をフル動員

自由度、迅速性、行動力、独創性、先駆性、柔軟性、  
多彩性、汎用性、社会的波及効果、教育的波及効果



# 創造性・革新性

合言葉は「右手にスコップ・左手に缶ビール！」  
「議論よりアクション」「走りながら考える」



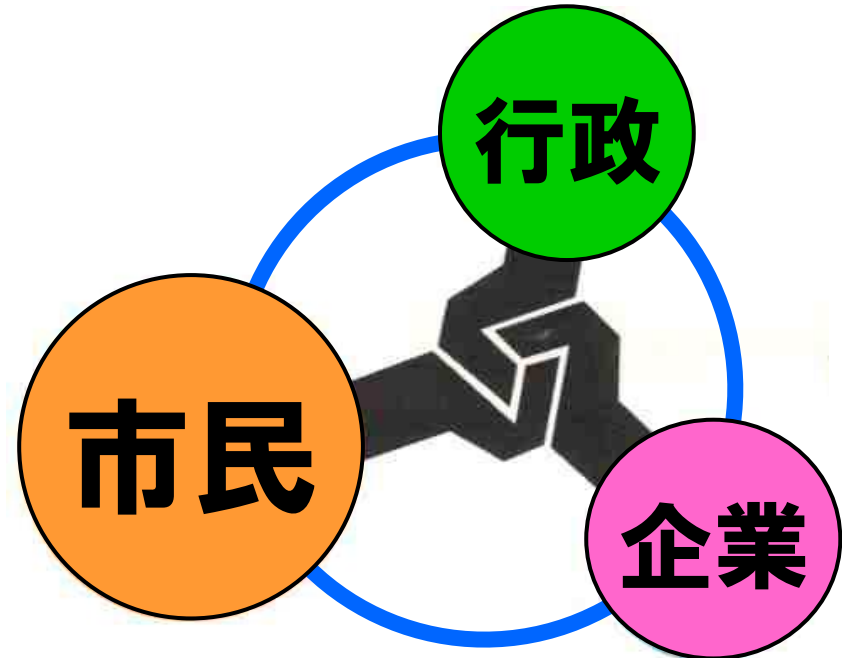
# グラウンドワーク三島の役割

・ **市民**・・・現場で汗を流す  
市民力・地域力を結集

・ **企業**・・・協力する  
専門性を発揮、資機材提供

・ **行政**・・・支援する  
資金援助・制度的支援・物的支援

・ **グラウンドワーク三島**・・・調整・仲介する  
中立的・専門的な支援と役割





# ①源兵衛川の水辺再生

源兵衛川の  
位置図



© T. Watanabe



整備前の源兵衛川(1980年代)



源兵衛川の清掃活動



源兵衛川環境再生ワンデイチャレンジ





源兵衛川環境再生ワンデイチャレンジ



中郷温水池ホテイアオイ掃討大作戦



環境出前講座の開校



住民参加の計画づくりと合意形成



# 地域協働で汚れた川を清流に再生



地域の恥に成り下がった  
汚れていた頃の源兵衛川  
(1960年～1989年)



地域協働で清流を  
取り戻した源兵衛川



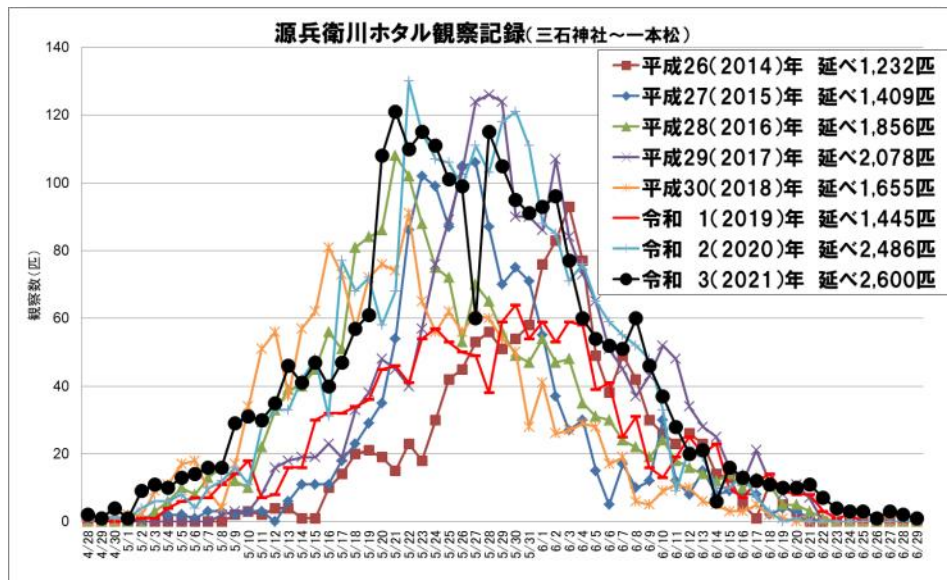
# 都市と農村を結ぶ水の道・よみがえった源兵衛川







## 源兵衛川のゲンジボタル観察数(平成26~令和2年)



## 絶滅危惧種・ミシマバイカモを復活



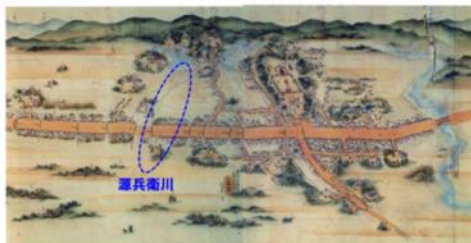
清流のバロメーター  
ミシマバイカモ  
(静岡県レッドリスト絶滅危惧II類)

源兵衛川・ミシマバイカモ群生地  
増殖させたミシマバイカモを移植

## 源兵衛川が世界遺産にダブル登録

### ●「世界かんがい施設遺産」

- ・ 2016年11月、国際かんがい排水委員会(ICID)
- ・ 源兵衛川(Genbegawa Irrigation Canal)で申請
- ・ 100年以上前に造られた農業施設で今も使用され、適切な機能を果たしており、溶岩を掘削し、蛇行して湧水を確認しながら、800haもの水田に農業用水を配水する用水システムの技術力と、現在も歴史的な施設が壊されず、保全・維持されている管理システムが評価された。



### ●「世界水遺産」

- ・ 2018年1月、世界水会議(WWC)
- ・ パートナーシップによる「源兵衛川」の管理再生システム(A Partnered Management and Restoration System of the Genbegawa Irrigation Canal)で申請
- ・ 100年以上前の歴史的な農業用施設であり、受益者である農業者だけの管理ではなく、川沿いや周辺の地域住民やNPO、企業などのパートナーシップが構築され、都市河川としての憩いの場、水辺空間として保全・維持されている地域協働のシステムが評価された。





## ②松毛川千年の森づくり



狩野川の原風景・松毛川の河畔林



地域住民との協働によるゴミ除去







# 松毛川(灰塚川)整備構想図





# ③境川・清住緑地・水の郷大湧水公園



大湧水池・三つ又



養魚場跡地



# 水の郷大湧水公園



公園整備の工事開始



完成後の境川・清住緑地湧水公園



# 「水と緑のネットワーク」の成果

## ①源兵衛川



## ②松毛川



## ③境川・清住緑地





- 29年間で70箇所を整備
- 今後10年間で100箇所目標
- 「市民公協事業」の展開



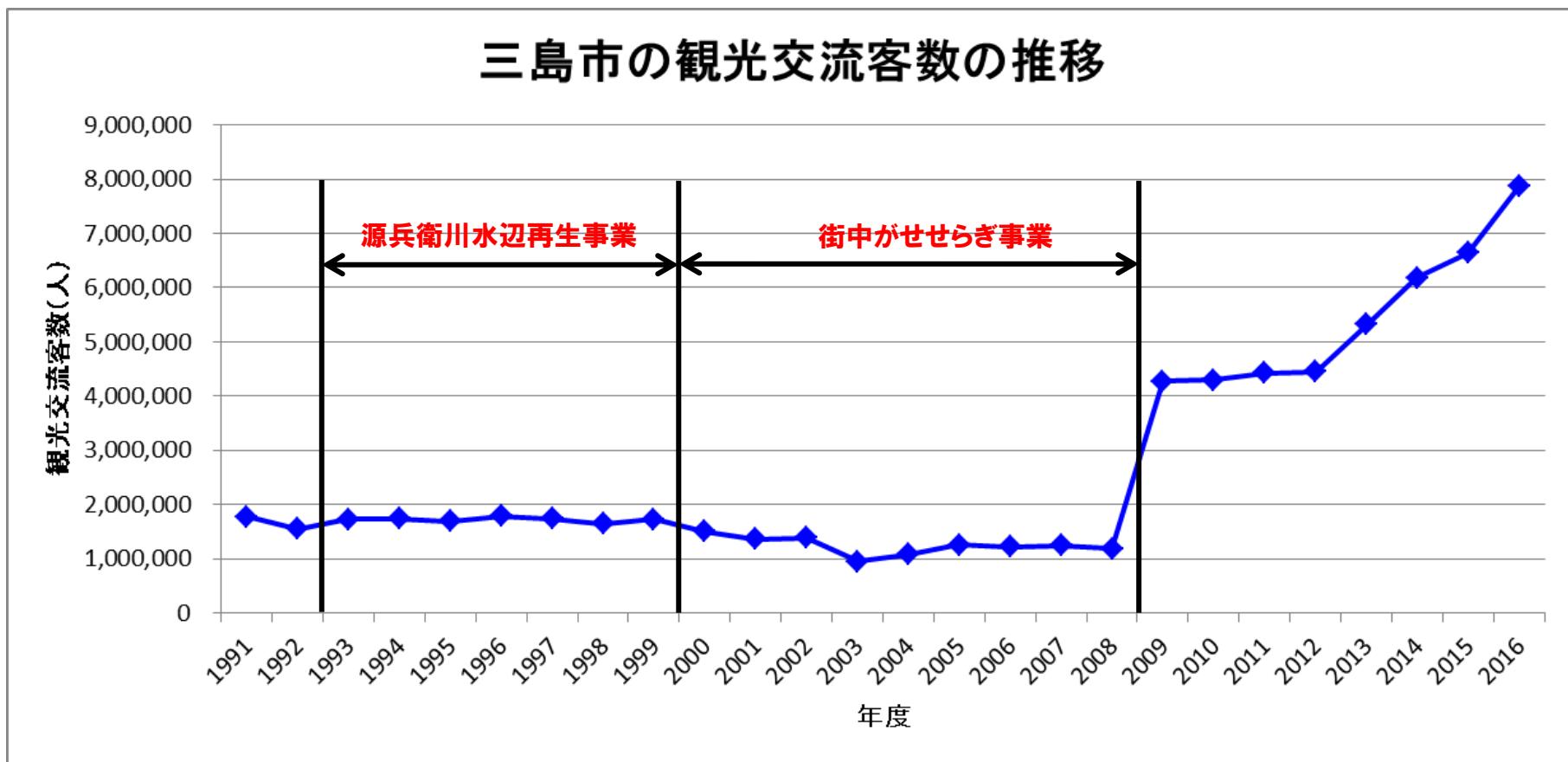
グラウンドワーク三島の  
プロジェクト実践地



# 社会的・経済的な波及効果

## ● 地域の経済的发展に貢献

- 観光交流客数174万人(1991年度)が714万人(2019年度)と約4倍に増加





# 展開可能性

- 2020年5月の市民アンケートで91.7%の市民が「三島は住みやすい」と答え、満足度は前回4位「公園・水辺空間の整備」が2位に浮上、水辺自然環境の優位性を実証
- 街中全体を俯瞰した、歩いて楽しい賑わいのあるまちづくり計画・ランドデザインの策定
- 源兵衛川の再整備(15億円)、御殿川の親水公園化(10億円)の事業化

伊豆 伊豆新聞 令和2年(2020年)8月29日 (土曜日)

三島市市民意識調査



「公園・水辺空間の整備」満足率上昇

「91.7%が「住みやすい」「幸福感」とともに過去最高

三島市は2019年、本年度市民意識調査の結果を発表した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、外出自粛などの影響を受け、市民が憩いやすくなる環境となった。有効回答率や「住みやすい」「幸福感」が過去最高の数値を示し、環境の整備や自身の健康に対する関心度も高まった。

調査は、5月13日(土)に、市民の暮らしを大切にするため、有効回答率の割合は、2019年度55・5%、07年度53・8%、18年度55・8%、19年度54・3%と伸びてきたが、今年度は65・9%にアップした。

満足度は「住みやすい」と「幸福感」の2項目が、前年4位だった公園・水辺空間の整備が2位に浮上り、満足率は前年比で15・8ポイント増の60・0%だった。

「住みやすい」は前年比で10・6ポイント増えた。

「幸福感」は前年比で12・1ポイント増えた。

「住みやすい」は前年比で10・6ポイント増えた。

「幸福感」は前年比で12・1ポイント増えた。

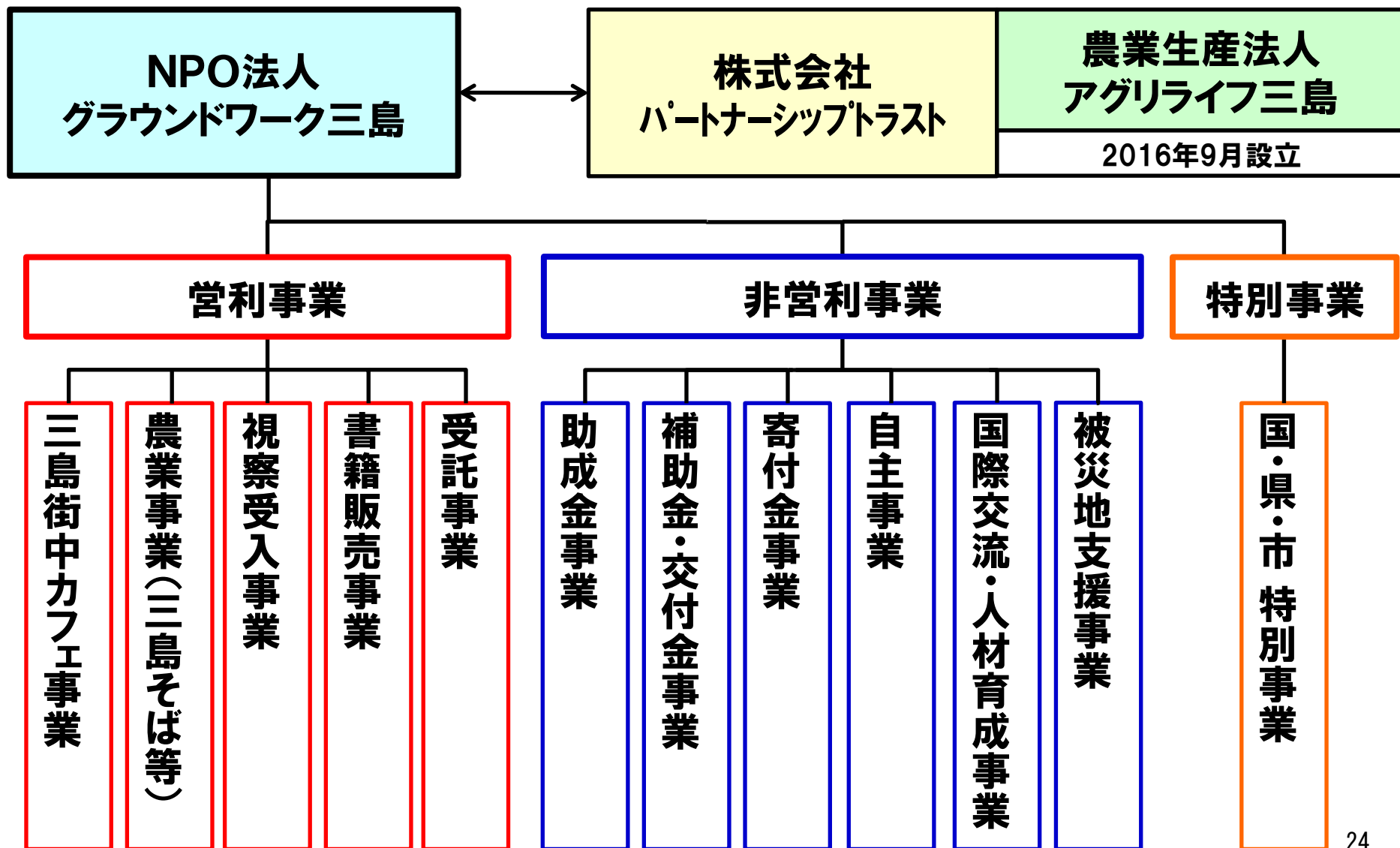




川好き少年・水餓鬼が彼女2人を  
自信満々で源兵衛川をご案内中



# 持続可能性(運営体制)







三島街中カフェ1号店



三島街中カフェ2号店



三島街中カフェ3号店



三島そばの花



# 市民力・地域力を結集して 「水の都・三島」湧水網都市を創る！



グラウンドワーク三島事務局

せせらぎ環境案内処